

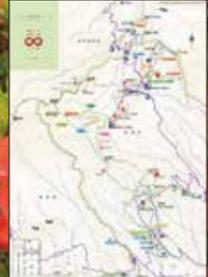
八方ヶ原のツツジ

初夏の高原を彩る朱の絨毯

高原山の南東から北東部、標高 1,000 ~ 1,200 m に広がる高原が八方ヶ原です。例年、5月下旬~6月中旬には約 20 万株のレンゲツツジの大群生が花開き、辺りは朱色の絨毯におおわれます。一帯は、現在は日光国立公園の一部として動植物や環境が保護されていますが、昔は軍馬の放牧場が営まれていました。多くの草木が軍馬に食べられるなかで毒を持つレンゲツツジだけは食べられずに残ったため、群生になったといわれています。駐車場や遊歩道、展望台などが整備されているため家族連れでも訪れやすく、ツツジの花季には毎年、山歩きやツツジ狩りに多くの人が詰めかけます。近年はレンゲツツジの花見だけでなく、紅葉の季節や天体観測にも人気を博すようになりました。

八方ヶ原のツツジの開花状況や案内は、ホームページ「HAPPY HAPPO プロジェクト」(<http://happyhappo.net/>) でご確認ください。

△ HAPPYHAPPO プロジェクトのサイト



△ 八方ヶ原周遊マップもダウンロードできます

矢板市は、歌人・与謝野晶子の歌にも詠まれた名峰・高原山を間近に望む県北部に位置します。同時に名水の里としても知られ、高原山の山麓部には、一年を通じて豊富な湧水量を誇る倉掛湧水池などが存在しています。

さて矢板市にはもう一つ、日本の古代史ファンに有名なスポットがあります。高原山の火山群の高峰である剣ヶ峰がそれで、この地で採れた黒曜石は矢じりなどの石器の材料として、関東一帯に広く流通しました。現地を調査したところ、採掘坑跡も発見され、矢板市からは 200km 以上も離れた静岡県三島市や長野県信濃町の遺跡でも高原山産の黒曜石を使用した石器が発見されています。

現在の矢板市は、豊かな水と緑という自然環境に加え、整備された道路・鉄道などの利を活かし、グリーン・ツーリズムやスポーツ・ツーリズムなど新たな観光スタイルの開発を進めています。

矢板市のご当地キャラクター

ともなりくん・ポッポちゃん

矢板市のご当地キャラクターはともなりくん（平成 22 年誕生）とポッポちゃん（平成 3 年誕生）。ともなりくんは川崎城のお殿様（塩谷朝業）をイメージしたキャラクターで、イベントに参加したり、Twitter でつぶやいたり、矢板市の情報発信に努めています。



ともなりくん ポッポちゃん

市街の長峰公園もツツジの名所として知られます

▼ レンゲツツジ

見どころ

● おしらじの滝

真っ青に澄んだ滝つぼで有名な滝。かつてはマニアの間で語られる幻の滝でしたが、近年は、遊歩道も整備され、歩きやすくなりました（山道ですので、登山靴等適した格好でお越しください）。



● 赤滝

しぶきをあげて水が流れ落ちる岩肌の下半分が赤色なのがその名の由来。修験者の修行場としても使われてきた名瀑で、現在は格好の撮影ポイントとして人気です。



● 長峰公園

約 5000 本のツツジが美しい、ツツジの郷・矢板を象徴する公園。「日本の都市公園 100 選」にも選ばれ、4月上旬~5月中旬の桜とツツジの花の最盛期には、夜間のライトアップも行われます。



● 木幡神社

坂上田村麻呂所縁の古社。室町時代中期の建造とされる本殿・楼門は国の重要文化財です。ご祭礼の「厄除け大祭（どんと焼き・太々神楽）」「木幡神社のどんと焼き」「春季例大祭（太々神楽）」「秋季例大祭（百物揃武者行列渡御）」も有名。



● 道の駅やいた

地産地消をコンセプトに、地元の朝採り野菜の直売所「旬鮮やいた」、農村レストラン「つつじ亭」などからなる施設。家庭の CO2 排出量削減を目的にエコ技術を紹介する体験施設「エコモデルハウス」は、環境省選定の全国 20 カ所のモデルハウスの一つです。



日本遺産

「明治貴族が描いた未来~那須野が原開拓浪漫譚~」

那須塩原市・大田原市・矢板市・那須町の 4 市町合同で申請した「那須野が原開拓」に関するストーリーが日本遺産に認定されました。日本遺産の概要と認定されたストーリー、構成文化財については、右記 2 次元バーコード（文化庁日本遺産ポータルサイト）をご覧ください。



● 矢板武記念館（構成文化財）

開拓と那須疏水開削に尽力した矢板武の旧宅です。常設展では功績を偲ぶ数々の資料を展示しています。また、中庭には樹齢約 190 年のシダレザクラがあり、毎年開花時期にあわせてライトアップを行っています。



● 山縣有朋記念館（構成文化財）

明治 42 年、山縣有朋公晩年の別荘として知られる古稀庵（小田原市）に建てられた洋館です。大正 12 年の関東大震災で倒壊しましたが、翌年山縣農場内に移築されました。有朋の遺品などが展示されています。



NEWS

矢板中央高校が全国高校サッカー選手権大会で大活躍！

県の代表として第 98 回全国高校サッカー選手権大会に出場した矢板中央高校の活躍は、今も記憶に新しいことでしょう。「謙虚・ひたむき・挑戦」をモットーに厳しいトーナメントを勝ち進み、準決勝では優勝した静岡学園に 0 対 1 という紙一重の差で苦杯を喫したものの、全国 3 位の好成績をあげるとともにフェアプレー賞を受賞しました。



▲ 準決勝・対静岡学園の熱戦



矢板市

個性豊かな県内の各市町をご紹介します。今回は、矢板市をご紹介します。

~名峰・高原山を間近に望む、豊かな水と緑の里



profile 矢板市

矢板市のルーツは、明治 22 年の町村制施行で誕生した矢板村・泉村・片岡村の 3 村にさかのぼります。矢板村は同 28 年に町制施行、昭和 30 年には 1 町・2 村の合併によりほぼ現在の市域となり、さらに同 33 年の市制施行で矢板市が生まれました。市内は東北自動車道や国道 4 号、矢板バイパス等の幹線道路のほか、JR 東北新幹線・宇都宮線が縦貫し、県北の交通の要衝となっています。

▶ 面積：170.46 平方 km ▶ 人口：32,013 人（13,102 世帯）

（令和 2 年 2 月 1 日現在）